



Chisaki

Japan

■メルボルン/ディスカバーを選んだ理由

留学エージェントでメルボルンを紹介され、おしゃれなカフェが沢山あること、歴史的な建物が多く残る街並みであること、都会的でいて自然がすぐ近くに溢れている環境が気に入って渡航先を選びました。学校選びの際には「スパルタ度」を重視し、English onlyでありつつも相談室では自国語で相談する事も可能であること、アクティビティーが充実していること、生徒の平均年齢が大学生に偏っていないことなどから、私にはディスカバーが良いバランスであると判断しました。

■実際にディスカバーで就学した感想

私は一般英語コースのIntermediateレベルから入学したのですが、週ごとにクラスメイトが入れ替わったり、自分が上のクラスに上がったりと沢山の出会いがありました。どのクラスも明るくフレンドリーで、多国籍の友達と学外でも共に時間を過ごし素晴らしい思い出が出来ました！授業はテキストに沿って進められますが、ゲームをしたり、歌ったり、時には外に出かけることもありました。眠気と戦いながらノートを取るなんてことはなく、楽しく英語が身に付くような仕掛けが沢山あり、毎日があっという間でした。授業外では、ジョブクラスに参加しレジュメの文章を考えてもらったり、エクストラクラスで自分より上のクラスの生徒達と一緒に学ぶのも刺激的で楽しかったです！3ヶ月の就学で、Upper-Intermediateレベルで卒業できました。

■卒業後のお仕事探し、お仕事内容

卒業後はセカンドワーキングホリデービザの申請要件を満たすため、まずは苺ファームで働きました。12kg以上あるトレーを運びながら中腰で行うピッキング作業は過酷でしたが、苺農家のご家族と仲良くなり、コロナ禍でメルボルンがロックダウン中だった間もお家に住まわせていただきました。家族同然に接してもらった時間は楽しく、大切な思い出になりました。ロックダウン解除後に求人アプリを使って仕事探しを始め、私の前職であるパティシエのフルタイムポジションを募集していた現在の勤務先を見つけました。私の職場は四つ星ホテルで、ホテル内で提供されるパンやデザートは全て3人いるパティシエチームの管轄です。レストランのコースデザートやルームサービスから、週末にはウェディングなどの大人数のイベントを担当することもあります。

■オーストラリアで働いてみた感想とアドバイス

オーストラリアで働いてみて、日本で働いていた時に比べ個人のクリエイティビティーと自発的な姿勢が求められていると強く感じました。例えば、パティシエチームの中でマカロンは毎回私だけが作っていて、作る度に違う味を試して、新しい味を開発したり、マカロンタワーを作ったりということも任されています。先日は、新しいデザートに私の案が採用されました。指示を仰ぐばかりでは責任感や自信がないと捉えられてしまうため、本当に助けが必要かどうかしっかりと見極めをするよう努めています。

「自分を信じ、好きでいること」、「諦めないこと」この二つを心に留めチャレンジし続ければ、きっと結果は付いてくるはずですよ。自分で自分の限界を作ってしまうのではなく、オーストラリアでより良い経験が出来るよう、何事にも恐れず挑戦していきましょう！





Kazuki
Japan

■メルボルン/ディスカバーを選んだ理由

ワーキングホリデーの目標の一つにオーストラリアのカフェで働くことがあり、メルボルンは特にコーヒー文化が盛んな街と聞き、渡航先に選びました。海外で働いた経験がなかったので、準備期間としてディスカバーのホスピタリティプログラムを受講することに決めました。英語コースと並行してホスピタリティ研修(四週間のイブニングクラス)が取れたので、仕事探しも予定より早く始めることができました。

■ディスカバーのよかったところ

アクティビティが豊富なところで、少人数のクラスを提供しているところです。先生がアクティブで、話をよく振ってくれたりコミュニケーションがしやすいです。生徒が少ないことで、必然的にスピーキングの機会が増え英語力アップにつながったと思います。また、アンバサダープログラムに参加しているのでクラス外の生徒の皆さんと交流する機会があり、たくさんの友人が作れました。

■ホスピタリティ研修の感想

印象に残っている授業の中にロールプレイング形式の授業があります。「三人一組になり、一人が酔っ払っている状態でさらにお酒を頼もうとした時、あなたが店員ならどう対応するか」というものでした。また、四週間のうち一週間はバリスタ研修で、コーヒーの作り方や機械の扱い方を学びました。コーヒーは奥が深く、基本のコーヒーだけで12種類あり、それぞれの飲み物を作るのにかける時間も実際にカフェで働く場面を想定して決められており、良いトレーニングになりました。友人関係の面でも、バーテンダーになりたい人やバーで働きたい人たちと仲良くなりました。今でもFacebookでつながっています。

■お仕事探しに関して

ホスピタリティ研修を卒業した後、毎週水曜日開催のジョブクラブに参加し履歴書を用意しました。ジョブクラブでは、先生が英文履歴書の書き方や添削をしてくれ、アドバイスももらえます。僕の場合は、履歴書は実際には3枚ほどしか送っておらず、SNSを使い仕事探しを始めました。まずはバリスタの仕事を希望している仲間がいるFacebookグループに参加し自己紹介を投稿したら、求人を出しているカフェのオーナーがコンタクトをくれ、トライアルの後働き始めました。メルボルンで働きたい方へは「時間がかかっても諦めないこと」をアドバイスしたいです。レジュメをたくさん配り、面接やトライアルの場数を踏むことが大切です。

■カフェでのお仕事に関して

日本のカフェで働いていたときに比べて、お客さんから話しかけられる機会がとても多いです。「調子どう?」といった会話から、「今度パーティーがあって…」のような全く知らない話題を振られることもありました。最初はコミュニケーションをとるのが難しく感じましたが、慣れた今では世間話も楽しんでいます。仕事に慣れてくると常連客の好みを把握し、注文無しにコーヒーの提供が出来るようになりました。お客さんにも喜んでもらえ、こういった小さなことから仕事に対するやりがいを感じられます。

■メルボルン/ディスカバー検討中の方へメッセージ

メルボルンは沢山の文化が織り交ぜられた街です。街中には美術館があったり、全豪オープンテニスの舞台があったり、見るだけで楽しいです。ディスカバーではこういった場所を訪れるアクティビティやパーティなどのイベントもあります。コースの種類も多く、ホスピタリティプログラムだけでなくインターンシップのプログラムなどもあるので、あなたにあったコースを見つけ、楽しい留学生活を送ることが出来ると思います!



CRICOS Code: 03285J





English + Volunteering



Miu
Japan

■メルボルン/ディスカバーを選んだ理由

私は昨夏、5ヶ月間カナダへ語学留学をしました。5ヶ月はあっという間に過ぎ、期待していただけの成長を感じることは出来ず、もっと英語を極めたいという思いが残りました。そこで、昔短期留学で訪れた際に人々の温かさや自然の美しさに魅了された国、オーストラリアへ再度渡航を決めました。カナダ留学時とは趣向を変え、今まで培ってきた英語力を実際に活かすことのできるコース・ボランティアを手配していることが決め手になりディスカバーを留学先を選びました。

■ケンブリッジファウンデーションコースで学んだことや感想

私が受講したケンブリッジファウンデーションコースは、日常英語やアカデミック英語だけでなく、ビジネスシーンなどあらゆる場面に適応できる英語力を身に付けられるようカリキュラムが組まれています。英語の正確さや流暢さにもフォーカスされているため、英語のプロフェッショナルに近づくための一歩となりました。授業は教科書を軸に先生が用意してくれた資料も使い、楽しみつつ効率的に学べるよう提供されていました。英語力向上に役立つツールや将来的に役立つような話も共有してくれ、約1ヶ月半という短い期間でしたが、私にとって大きな自信へと繋がりました。

■環境保護ボランティアの内容と感想

美しい自然に囲まれ、野生の動物が生息している公園で合計4回ボランティア活動を行いました。在来種を守るための雑草抜きや水やりが主な仕事でした。この作業は、自然を保護するためだけでなく、絶滅危惧種を守ることに繋がるため、とてもやりがいがありました。活動中、野生のカンガルーにも出会うことができました。毎回違った仕事を与えられ、新しい仕事のたびに手順だけでなく目的の説明もあったため、自分の英語力を再確認でき、オーストラリアの自然や文化に対する知識も深まりました。次回オーストラリアへ訪れるチャンスがあれば、またボランティアに参加し、美しい自然であふれているのを見届けたいです。

■英語+ボランティア留学/ディスカバー検討の方へのメッセージ

私は今回の留学を通して、自分自身の成長を感じるだけでなく、日本帰国後の新たな目標を見つけることができました。英語を話せることで国境を越えて世界中の人々と交流ができ、改めて英語という言葉のすばらしさに気付きました。同時に、自分の英語力を磨き上げ続けたいという気持ちが更により強くなりました。少しでも留学に興味があるのであれば、行動に移してみるべきだと思います。今まで知らなかった世界が見え、視野も広がっていくはずですよ。留学中どれだけ充実した日々を送れるかは、自分の行動力次第だと思います。たくさんのことに挑戦して、今しかできないことを存分に楽しんでほしいです。





Asuka
Japan

■メルボルン/ディスカバーを選んだ理由

多国籍の人々が集まり親日家も多いオーストラリア、中でもメルボルンはより日本人が少ないと聞き、英語力を一層伸ばせる絶好の場所だと思い留学の地に選びました。語学だけでなくホスピタリティも学べる学校に行きたいと考えていたため、一般英語15週間、その後2週間ホスピタリティのトレーニングができるパッケージがあるディスカバーを選びました。

■メルボルンでの生活の様子

ホスピタリティコースを終え、取得した資格や経験を活かせるローカルの仕事を探しました。ローカルの仕事探しは予想以上に大変でしたが、諦めずレジュメを配り続け、念願のベーカーリーカフェでのバリスタポジションに就く事ができました。仕事の傍ら、ディスカバーから紹介を受けたconservation ボランティアやメルボルン女性団体のイベントスタッフボランティアに参加しています。週末は友人とイベントに行ったり、映画や観光に行ったりと忙しい毎日ですが、ここでしか出来ない経験は本当に楽しく、全てが自分の財産になると確信しています。

■ディスカバー英語コースの感想

私はIntermediateからのスタートでしたが、ホスピタリティコースに向けて語学力アップを出来るだけ早くと思い、5週間後にUpper Intermediateに進級しました。クラスでは文法は勿論、スピーキングのパートにも力を入れており「英語で考え英語で話す力」が付いたと思います。先生も親身に教えてくれますし、やる気があればあるだけグングン力が伸びると思います。その結果、出発前に比べTOEICスコアが200アップしました！

■ホスピタリティコースの感想

RSA、バリスタの講義から実技まで、全てにおいてネイティブ環境だったので、最初こそ緊張したり、戸惑ったりしましたが、コース終了後には大きな達成感と、リスニング力がかなりアップしたと感じています。コースの中では、実際にカクテルを作ったり、コーヒーを作ったり、英語で学んで英語で実践するのは、ここでしか出来ない経験だと思います。現地で仕事をしたいのであればこのコースは本当にオススメです！

■メルボルン/ディスカバー検討中の方へのメッセージ

メルボルンは比較的日本人も少なく、多国籍文化が体験できる素晴らしい都市です。緑も多く、ビーチも沢山あるので、天気の良い休日は友達と一緒に、勿論1人でものんびりと過ごせます。(美味しいものも沢山あるので食べ過ぎに注意を！笑)ディスカバーを検討している方は、英語オンリーのポリシーを持っているこの学校を是非オススメです。アクティビティも、ボランティアも、様々な分野でサポートがあります！自分が何をしたいか、何を目標とするかをしっかり決めて行くと、必ず成長できると思います。







Student Testimonial



Kanami
from Japan

— なぜメルボルンを選んだのですか？

日本との時差が少ない英語圏の国で留学したいと思い、オーストラリアを選びました。中でもメルボルンはカフェ文化が盛んで、コーヒー好きの私にとって魅力的でした。友人から「街並みがとても綺麗」と聞いていたこともあり、メルボルンを第一希望にしました。

— なぜディスカバーイングリッシュを選びましたか？

日本で参加した対面説明会で、実際にコースを受講した体験談を聞くことができました。その際にケンブリッジコースに興味を持ち、「ここで学びたい!」と思い、ディスカバーを選びました。

— 実際にディスカバーで就学した感想

2025年9月から12週間ケンブリッジ試験対策コース (FCE) を受講しました。計画がしっかり立てられていて、試験対策としてとても良かったです。毎日の授業は“試験勉強”という堅い雰囲気ではなく、グループワークやディスカッションを通してながら、文法などの必要な知識が身につき、楽しく学べました。

— クラスメイトや学校の雰囲気は？

みんな優しくて、1週目で打ち解けることができました!

授業では先生がペアやグループを変えてくれたので、全員と話せる環境がありました。

ケンブリッジは3カ月同じメンバーということもあり、「テスト」という共通の目標が絆を深めてくれた気がします (笑)

Extra Classでは他クラスの学生とも話せて、とても良かったです!

— 印象に残っている先生や授業はありますか？

クラスを担当してくれたMark と Tristan の授業が特に印象的でした。

二人とも分かりやすく、アプローチや対策の仕方が違っていたので、自分に合った方法を適宜試して選ぶことができました。

Extra Classでは自分の苦手な発音や文法をピンポイントで補強でき、日々の勉強にとても役立ちました。

おすすめです。

— 英語力が伸びたと感じる部分は？

スピーキングとライティングが特に伸びたと思います。

スピーキングは授業で発音の癖を直してもらったり、クラスメイトと話すことで上達しました。

テストのパートナーと練習を重ね、ディスカッションができるようになったのも大きな成果です。

ライティングは3カ月間を通じてコツコツ積み重ねが必要でした。

先生の添削がとてもレベルが高く、より自然な表現・言い回しが身につきました。

— 今後の予定は？

学校に通いながら夜はレストランで働いていたのですが、

この後はオーストラリア唯一の和風旅館で仲居さんとして勤務します。

日本に帰国後は同じ会社に戻りつつ、

ケンブリッジの資格を活かして 海外事業部への異動を希望するつもりです!

—これから留学する学生さんへのアドバイス

もし迷っている方がいたら、ぜひディスカバーをおすすめします!

学校の規模が大きすぎず、アットホームで通いやすい雰囲気です。

ケンブリッジコースは、英語を一度学んだことのある方や、社会人で帰国後のキャリアが不安な方に特におすすめです。

ぜひメルボルンライフを楽しんでください!



Yuka
Japan**■ ディスカバーでは何を勉強しましたか？**

ディスカバーでは一般英語コース、ケンブリッジ・ファウンデーションコース・ケンブリッジFCEコースの3つのコースで1年間勉強しました。ディスカバーの親切で熱心な先生方、スタッフの方々のおかげで英語も上達し、充実した留学生活を送ることが出来ました。

■ 日本語教師ボランティアに参加したきっかけは？

定期カウンセリングの際に、日本語ボランティアの手配サポートがあることを知りました。日本では教員をしていたこともあり参加を決めました。

■ ボランティアでは何をしましたか？

私は小学校と中高一貫校の二つでボランティアに参加しました。日本文化に関するプレゼンテーションや個別指導、インタビューの練習などが主な役割でした。また、授業外の学校行事（全校集会や文化祭、卒業式）にも出て日本との違いを学びました。

■ ボランティアを終えての感想をお願いします。

日本での生活に満足できずオーストラリアへ出てきた私でしたが、日本語教師アシスタントボランティアプログラムを通して出会った学生たちに、逆に日本のよさを教えてもらいました。日本の文化や考え方に興味を持つ親日家の方も多く、そういった人たちとの出会いは大きな学び・気づきとなりました。

また、ボランティアに参加することでディスカバー以外の世界が広がったようにも感じます。現地の人の生活や日本とは違うディスカッションを多く取り入れた教育方法などを垣間見ることも出来ました。生徒や同僚の教員とちょっと英語でコミュニケーションをとりたいたいと英語勉強のモチベーションを高く保つことが出来、実際にオーストラリア人の学生とのやり取りでグッと英語の上達が早まったのも、日本語教師アシスタントボランティアに参加して良かった点の一つです。

ボランティア、またディスカバーで出会った全ての人との出会いが、私の一年間の留学の宝物になりました。



CRICOS Code: 03011SJ

DISCOVER
ENGLISH
Discover more

 discoverENGLISH
www.discoverenglish.com.au

大学休学留学中！

なごみさん



大学を休学して、ディスカバーイングリッシュで長期留学中です。長期留学をする前に2週間の短期留学でメルボルンに来てみて、安全な都市メルボルンにまた来ようと思いました！ディスカバーイングリッシュでは一般英語の初中級からスタートし、はじめはコミュニケーションが上手く取れずとても戸惑ったけど、タイ、韓国やコロンビアのお友達ができて英語で話すようになり、リスニングやスピーキングが自然と上達しました。初めてできたタイ人の友達とシドニーに行けた事が1番の思い出です！



メルボルンでの生活

アルバイトやボランティアを経験しています。週末は友達とSt KildaビーチやSouth Melbourneビーチに行ったりしています。

留学を終えてからの予定

大学では福祉を専攻しているので、将来は留学経験を福祉に生かされるよう日本に住んでいる外国の方と関わっていければと考えています。まずは、ボランティアやサークルを通して外国の方々との接点を持ち続けたいと思っています。

これからメルボルンへ行こうと思っている方へ

メルボルンは初めての海外ですが、住みやすく、安全なので安心して生活しています。多国籍の人が住んでいるメルボルンでは色々な国の人と交流して、異文化に触れていくことで自分の視野が広がると思います。理不尽なこともあるけど、受け入れようと取り組む姿勢が大事なかなと思います。

ディスカバーイングリッシュを選んだ理由

コースの種類が多く、ボランティアができたり、多国籍なディスカバーに決めました。一般英語コース受講中、中級から中上級レベルの時、ある程度コミュニケーションが取れ、文法の知識がある中で自分がどのように上達していけばいいのか悩みました。そんな時、一日一ボキャブラリーを作って5文章を作るというアドバイスを受け、実践することで単語力も上がり、翌日の授業での発言やライティングに自信になりました。

現在は、ケンブリッジファウンデーションコースを受講中。残り3ヶ月になったところで学校のスタッフに相談し、よりライティングやリーディングが多く、単語力を多く勉強するこのコースへ変更しました。とてもやりがいがあり、同じ目的意識のクラスメートと励ましあい、刺激しあい、楽しく勉強しています。ケンブリッジに精通した先生方でとても勉強になります。今後、ケンブリッジ試験対策コースを受けたいと強く思うようになった。

